

# IUFRO-J NEWS

No. 12 (1980. 8) —

## ポスターセッションに参加を希望される方のために

第17回ワフロ世界大会では新らしくポスターセッションをとりいれました。ポスターセッションでは、会場に用意した展示用ボードに報告の要旨、図表、写真などを貼りつけて、その研究に関心をもつ人たちに説明し、質疑応答、討論を行なうことになります。このことについては本誌10号(1980.2)およびIUFRO NEWS No.27に載った第1回アナウンスメントで紹介しましたが、参加を希望される方々のために申込みの手順と発表の方法を詳しく説明することにしました。

### 申込みの手順

1. まず関連の部会長 (divisional coordinator) に発表の意志表示を行なって下さい。部会長の氏名と住所は次のとおりです。

#### Division 1: Site and Silviculture

Professor Dušan MLINŠEK  
Biotehniska Fakulteta  
Krekov trg. 1  
YU-61001 Ljubljana, Yugoslavia

#### Division 2: Forest Plants and Forest Protection

Dr. Robert Z. CALLAHAM  
Pacific Southwest Forest Experiment Station  
1950 Addison Street, P. O. Box 245  
Berkeley, California 94701, U. S. A.

#### Division 3: Forest Operations and Techniques

Professor Marten BOL  
Landbouwhogeschool  
Generaal Foulkesweg 64  
Wageningen, Netherlands

#### Division 4: Planning, Economics, Growth and Yield, Management and Policy

Professor Richard PLOCHMANN

Institut für Forstpolitik

Schellingstrasse 12/11

D-8000 München 40, FRG

#### Division 5: Forest Products

Dr. William E. HILLIS

Division of Building Research, CSIRO

Graham Road, P. O. Box 56

Highbett, Victoria 3190, Australia

#### Division 6: General Subjects

Professor Jean PARDÉ

Centre National de Recherches Forestières

Champenoux

F-54280 Seichamps, France

ただし、各部会の窓口となっているローカル・コーディネーターまたは事務局に連絡されれば、仲介の労をとります。

2. 部会長の承認をえた方は、発表内容の要旨を明年3月31日までに部会長に送って下さい。要旨は、今年末ごろに配布する第2回サーキュラーにとじこむ特製の用紙に、記載要領に従ってタイプして下さい。

この場合にも、ローカル・コーディネーターまたは事務局が仲介の労をとります。

### 発表の準備

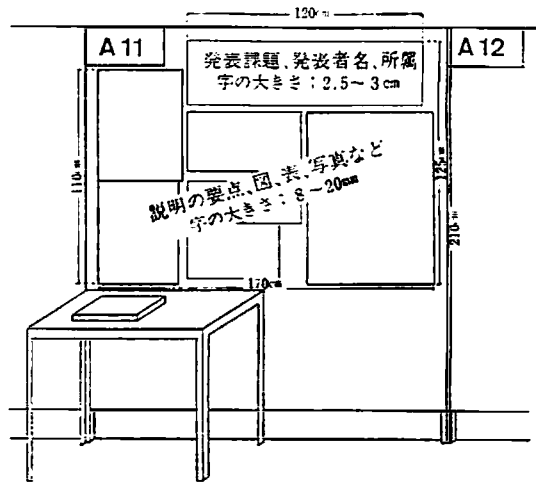
要旨を提出した方は、明年9月の大会までに、別掲のポスターセッションの実施要領に従って展示用の諸資料を準備して下さい。ポスターセッションのプログラムがきまり次第、発表場所と日時を事務局からご連絡しますので、指定された日時に、用意した展示資料をもって会場にきて下さい。係が所定の展示用ボードを示しますので、備付けのピンをつかってボードに貼付していただきます。

なお、先に提出していただいた要旨は大会当日登録のさいに配付するプロシーディングズに印刷されますが、会場で関連資料、別刷などを配ってもかまいません。

ポスターセッションの実施要領

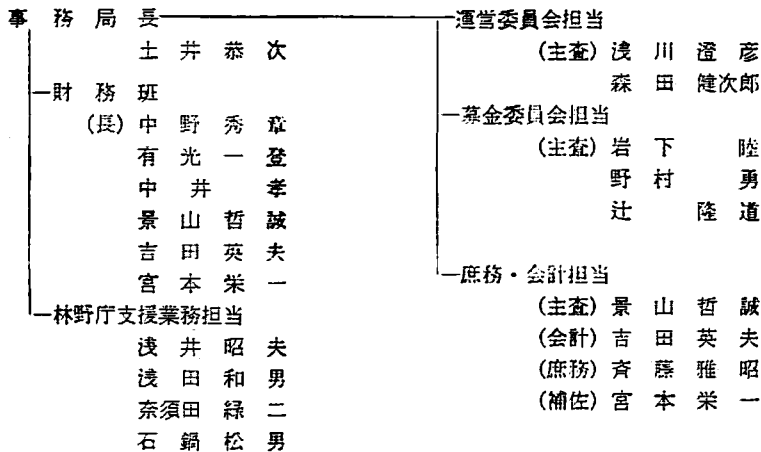
1. ポスターセッションで発表を希望する方は関連の部会長に申込む。
2. 部会長の承認をえた方は、1981年3月31日までに発表要旨を部会長に提出する。
3. 要旨の作成方法
  - (1) 英語が望ましいが、仏語、独語でもさしつかえない。
  - (2) 第2回サーキュラーに同封される特製の要旨記載用紙にシングル・スペースでタイプする。
4. 要旨は、大会登録時に配付される関連部会のプロシーディングズに掲載される。
5. 発表内容は未発表のものであることが望ましい。
6. 発表者は必要な展示用資料を準備し、当日会場に持参して、発表時間までに展示する。
7. 展示用資料の作成方法
  - (1) 展示用ボードの貼布面は幅 170 cm×長さ 120 cmである。貼布用のピンは備付けられている。
  - (2) 図表は太く、はっきりと書き、1.5 m はなれたところから読めるようにする。
  - (3) 説明文は英語が望ましいが、仏語、独語でもさしつかえない。

- (4) 展示ボードの冒頭に、(a)発表課題、(b)氏名、(c)所属を、2.5～3 cm の字体で明示する。
- (5) 与えられた展示ボード上での資料の配列は発表者の裁量にまかされるので、前もって工夫しておく。
- (6) 発表者は、質疑に答えたり、詳しい説明を行なうため、展示ボードの前に2時間立ちあわねばならない。
8. ポスターセッションの会場にはプロジェクターは用意されていない。
9. 発表者は定められた時間が終了したのちすべての展示資料を撤去する。



組織委員会事務局の体制強化さる

第17回大会の準備は着々と進んでいます。関連業務をより円滑に処理できるよう事務局の体制強化案を作成し、8月7日に開催された組織委員会幹事会・運営委員会合同会議に提案して承認されましたのでご紹介します。



ユフロ世界大会への参加、発表準備の手順

年月	事務局行事	登録	招待論文	討議論文	ポスター	エクスカージョン
55. 8						
			(研究会テーマとともに部会ごとに検討中)			
9						
						部会長の了解をえた方に要旨準備
10						
11						
12	第2回サーキュラー 発送	登録用紙	(研究会テーマ公表)	研究会テーマ をみて準備開始	要旨用紙	申込用紙
56. 1		○所要事項を記載して事務局に送付 ○参加費、宿泊費、泊り代などを事務局に送金	(発表者確定)		要旨をタイプして部会長に送付	○第3順位の希望まで記入して登録用紙とともに事務局に送付 ○第1順位の希望コースの送費を参加費などと併せて事務局に送金
2						
3			部会長 原稿締め切り		部会長 要旨締め切り	
			3.31		3.31	
4		組織委 割引き参加費 締め切り				組織委 1次申込締め切り
5		5.1				5.1
6						
	プログラム 発送		(発表者公表)	研究会で配る コピーを用意	展示用ポスター を用意	
7						
		最終締め切り				最終締め切り
		7.31(予定)				7.31(予定)
8						
	大会当日 プロシーディングズ 配布		(プロシーディングズに掲載)	(大会グループ座長に氏名、所属、論文名を申告)	(プロシーディングズに掲載)	
9						

## 委員会の動き

## ★組織委員会幹事会・運営委員会合同会議（議事録）

8月7日（木）午後（14：00～17：00）

農林水産省林野庁7階第1会議室

出席者（敬称略）

&lt;ニフロ副会長&gt;佐藤大七郎

&lt;組織委員長&gt;松井 光瑠

&lt;組織委員会幹事会&gt;平田種男・上飯坂実・川名明・佐々木功・神足勝浩・大矢寿・若江則忠・原田洸・水町浩・土井森次・紙野伸二・中野秀章の各委員

&lt;運営委員会&gt;杉原彦一・脇元裕嗣・岩下睦・浅川澄彦（土井）（中野）（紙野）（上飯坂）の各委員

&lt;林野庁&gt;今村研究普及課長・浅井昭夫・浅田和男・奈須田緑二・石鍋松男の各担当官

&lt;京都地区連絡会担当事務局&gt;岡田隴夫

&lt;事務局&gt;野村勇・森田健次郎・景山哲誠

以上27名（ ）内は再出の方。

松井委員長、今村研究普及課長の挨拶にひきつづいて、土井事務局長の進行担当で議事の審議に入った。

## 1. セカンドサーキュラー(案)について

きたる9月に連で開催されるニフロ理事会で、セカンドサーキュラー(案)についての意見をもとめることにしているが、8月中旬に前もって各理事に送付するはずで進めており、この案について3部会長から説明があった。

## (1) 総務部会関係 中野部会長

## (2) 研究部会関係 上飯坂部会長

## (3) エクスカーション関係 紙野部会長

## (4) その他行事関係 中野部会長

説明のあと、各委員からでた有益な意見・質疑を考慮して補足修正することになった。

## 2. 研究部会関連事項の報告—上飯坂部会長

ポスターセッション、研究集会についてその後の情報が説明された。

## 3. エクスカーション部会関連事項の報告—紙野部会長

各コースの一部変更、役員などの紹介と資料作成状況の説明があった。

## 4. 予算関係の報告—中野財務班長

日本学術振興会に提出する予算内容について説明があり、関連した質疑応答および全体の実行予算に関連した意見があった。

## 5. その他

## (1) ニフロ・ニュース27号につけたアンケートの8

月6日現在における中間集計結果が報告された。（浅川委員）

(2) 事務局の拡充と業務分担について報告がありました承された。（土井事務局長）

## 6. 基金事業の現況報告—土井事務局長

最後に松井委員長の挨拶があって閉会した。

## ★協力会、部会、事務局関係

## 7.10 事務局会議

## 1. 各部会報告

## 2. 登録のコンピューターについて

## 7.11 KICH との打合せ

## 7.15 基金委員会事務局会議

## 経団連関係基金打合せ

## 7.16 財務班会議

## 予算内容の検討について

## 7.22 エクスカーション・コーディネーター会議

## 1. 標示板、パンフレット類の内容打合せ

## 2. ニフロ・ニュース、エクスカーション特集号の原稿について

## 3. その他

## 7.22 基金委員会事務局会議

## 経団連関係基金対策について

## 7.26 基金委員会事務局会議

## 経団連関係基金対策について

## 7.28 事務局会議

## 1. 林野庁幹部会説明資料の作成について

## 2. その他

## 7.30 第7回協力会常任幹事会

## 1. 準備状況報告（土井）

## 2. 中央団体基金状況報告（若江）

## 3. 経団連基金方針について（林野）

## 8. 4 部会長・班長・事務局会議

## 1. セカンドサーキュラー案について

## 2. 大会運営マニュアルについて

## 3. 予算案について

## 4. その他

## 8. 6 協力会常任幹事会基金打合せ会議

## 経団連関係基金対策について

## 8. 7 組織委員会幹事会・運営委員会合同会議（議事録別掲）

## 8.11 基金委員会事務局会議

## 1. 経団連関係基金経過説明（土井）

## 2. 個別企業関係基金対策について

——第2回サーキュラーについて——

第17回ニフロ大会の第2回サーキュラー案は一部基調講演や分科会の内容等未定の部分を除き、さる8月7日の組織委員会幹事会・運営委員会合同会議でほぼ原案どおり了解されました。本案は8月18日までにニフロ理事会メンバーに発送され、9月にモスクワで開催される理事会で最終的にその内容が検討される予定です。理事会の検討後10月中に完成し、前回のオスロ大会の第2回サーキュラーとほぼ同じ大きさ（A5版）、ページ数（約50ページ）で印刷され、11月下旬から12月上旬にかけて直接各国のメンバー機関へ発送される予定です。わが国の会員の手元にもこれと同時期に配付されることになります。

第2回サーキュラーには各分科会の討議テーマが掲載されるほか、大会参加申込用紙やホテル予約申込用紙、エクスカーション参加申込用紙、ポスターセッション発表論文の要旨用紙等がとじ込まれる予定です。

——アンケートの中間集計——

IUFRO NEWS No. 27において、第17回世界大会への出欠をアンケート調査していますが、8月6日現在368名の回答がありました。これを、エクスカーションのコース別、部会（Division）別、および地域、国別に集計すると表のとおりです。現在までのところ、日本人の回答を含めても、ほぼ確実に参加するという人はまだ200名弱ですので、いろいろな方法でさらに積極的にPRにつとめていきたいと思いますが、皆様の格段のご協力をお願いします。

（注）参加の可能性の表示法

- A：ほぼ確実に参加する
- B：参加したいが、不確か
- C：参加できそうにない

1. 地域別・国別

国名	A	B	C	不明	計
<b>&lt;アジア&gt;</b>					
中 国					
イ ン ド	2	3			5
イ ン ド ネ シ ア		2	1		3
韓 国	6	4			10
日 本	29	16	7		52
フ ィ リ ピ ン	2				2
台 湾	2	4			6

国名	A	B	C	不明	計
タ イ	2				2
マ レ ー シ ア		1			1
小 計	43	30	8		81
<b>&lt;中近東&gt;</b>					
イ ラ ン	1				1
パ キ ス タ ン	1	1			2
ト ル コ	1	2	2		5
イ ス ラ エ ル	2				2
小 計	5	3	2		10
<b>&lt;ヨーロッパ&gt;</b>					
オ ー ス ト リ ア	3	4			7
ベ ル ギ ー	1				1
ブル ガ リ ア				1	1
チェコスロバキア	1	4		1	6
デン マーク	3	2			5
西 ド イ ツ	13	6			19
フィンランド	1	3	1		5
フ ラ ン ス	3	2			5
ハンガリー		2	1		3
イ タ リ ー		2			2
オ ラ ン ダ	2	3			5
ノ ル ウ ェ ー	7	6	1		14
ポ ー ラ ン ド	3	3	1		7
ポ ル ト ガ ル	1			4	5
ス エ ー デ ン	7	8			15
ス イ ス	2	3			5
英 国	6	5			11
ソ 連		4		5	9
ニ ー ゴ ス ラ ビ ア	12	5			17
小 計	65	62	4	11	142
<b>&lt;アフリカ&gt;</b>					
ニ ジ ブ ト	1				1
ガ ボ ン	1				1
ナイジェリア	3	4			7
南 ア フ リ カ	3				3
ス ー ダ ン	1				1
ウ ガ ン ダ		1			1
小 計	9	5			14
<b>&lt;北米&gt;</b>					
カ ナ ダ	12	10		1	23
米 国	31	31	2	1	65
小 計	43	41	2	2	88
<b>&lt;中南米&gt;</b>					
アルゼンチン			1		1

国名	A	B	C	不明	計
ブラジル	1	4			5
チリ		1			1
メキシコ		1			1
トリニダードトバゴ		1			1
ウルガイ		1			1
ベネズエラ	1	1			2
小計	2	10			12
<b>&lt;大洋州&gt;</b>					
オーストラリア	8	8		1	17
ニュージーランド	3	1			4
小計	11	9		1	21
合計	178	160	16	14	368

## 2. ニクスカーション・コース別

コース	A	B	C	不明	計
1	12	13	1	0	26
2	8	6	0	1	15
3	9	5	0	1	15
4	11	10	1	0	22
5	8	15	2	0	25
6	14	7	0	4	25
7	5	8	1	0	14
8	8	9	1	0	18
9	11	10	3	0	24
10	11	6	1	0	18
11	7	4	0	0	11
12	9	7	0	0	16
13	9	3	0	1	13
14	12	10	0	0	22
小計	134	113	10	7	264
不明	30	41	6	7	84
不参加	14	6	0	0	20
合計	178	160	16	14	368

## 3. 部会別

部会	A	B	C	不明	計
1	38	38	4	4	84
2	34	44	4	8	90
3	19	14	2	0	35
4	22	16	4	1	43
5	28	20	1	0	49
6	22	14	0	1	37
不明	15	14	1	0	30
合計	178	160	16	14	368

## 第5部会：S5.03「木材保存」分科会のお知らせ

標記について座長の FOUGEROUSSE 氏（フランス 国熱帯林業研究所）から、第17回大会（京都）の S5.03 の小分類として、「木材の生物劣化」「保管中の木材保存」「木材および木質材料の保存」「火災中の木材の挙動」の4つを考え、参加者の状況をつかむため、9月30日までに意向を提出してほしい（様式あり）との連絡がありました。S5.03 参加予定者は IUFRO 大会本部だけでなく、S5.03 についての意向も提出していただきたいと思えます。

提出先 Mr. Maurice FOUGEROUSSE

Leader S5.03 "Wood Protection"

45 bis, Avenue de la Belle Gabrielle

94130, Nogent-sur-Marne, FRANCE

## IUFRO ANNUAL REPORT 1979

8月はじめに1979年度のニフロ年報が届きました。前年と同じく、ニフロ本部役員・部会役員の一覧、部会別報告、事務局報告、機関会員準会員の動き、財務報告などが主な内容です。会長の緒言によると、1979年度には約40の研究集会在世界各地で開催されましたが、それらの中で、FAO/IUFROで共催した“地中海および温帯地方むけの早生広葉樹の造林地に関する技術的検討”（ポルトガル、リスボン；1979.10.16～20）と、“林分造成の諸技術に関するシンポジウム”（ソ連、モスクワ/リガ；1979.9.2～8）が特記されています。戦前、戦後にわたってニフロに貢献された功勞によって、第16回大会で名誉会員にえられたフランスのA. OUDIN教授が1979年12月15日に83才で死去され、その追悼文がのっています。また1979年中に17か国からの24機関と4準会員が新たに加入し、機関誌 IUFRO NEWS の発行部数は10,500部に達しています。

IUFRO-J NEWS No. 12

昭和55年8月25日

編集：国際林業研究機関連合—日本委員会事務局

発行：農林水産省林業試験場